

第23回体の動きを高める運動領域部会記録

参加者 河野 古川 畠中 岡田 藤原 関川 山本 横山 小清水 森田 坪根 濱須 東 小木曾
常任理事 荻原先生 黒澤先生 高草木先生

1 常任理事挨拶（荻原先生）

- ・ 前回の正副部長会で、河野部長が今年度の研究内容を端的にわかりやすく説明していた。
- ・ みんなに伝わりやすい提案になるように進めていくように。

2 正副部長会報告（古川）

○令和2年度の成果と課題

成果	課題
・ 第1時の取組 ・ 問いの分類と児童への指導 ・ 複線型の学習過程 ・ プロモーションムービー	・ 高まりの実感のとらえ ・ 指導することと考えること ・ 「問い」「学び」の共有方法 ・ 教師の言葉掛け

○令和3年度に向けて

- ・ 学習課題を見出し、解決していくための教師の働きかけ
- ・ 個別最適な学びと協働的な学びをつなげるための手だて
- ・ 2年間を見通した、学習過程

○令和2年度研究報告会について

日時：2月26日（金） 18:00～20:00

方法：Zoom ※各領域20名まで

3 検証授業3種学習指導案検討報告

岡田実践案

- ・ 手だてを極力講じないような授業を想定しているため、新たな手だては考えず、1単位時間のイメージを具体化させるための話し合いとなった。
- ・ まず「これから体の動きを高める運動に取り組むよ」と伝え、「みんなだったら、フープ・ボール・なわを使って何をする？」と問う。近くの仲間と話し合わせ、全体で共有する。これは、C児童への支援の意味も含まれる。
- ・ 運動時間25分間の内訳は、前半10分、共有3～5分、後半10分を想定。
- ・ 運動時間中の教師のかかわりは、「その運動で体の動きは高まった？」と発問をしていく。
→児童「はい」・・・・・・・・・・・・・教師「なんでそう思うの？」
児童「いいえ」・・・・・・・・・・・・・教師「どうすればよいと思う？」
児童「？（問いを返してくる児童）」・・・教師「よい質問だね。ホワイトボードに書いといてね。」
- ・ 運動時間の途中で共有すること。運動の紹介（なんでその運動が高まりそうだと感じているか）をする。
- ・ 振り返りでは、「？がたくさん出たね。それを次時以降につなげていこうね。」と伝えてまとめる。

古川実践案

- ・動画を流す目的の確認。
 - これまでは児童が運動をすることに必要感を感じていなかった。また、高め方や4要素に対する認識が不十分なまま授業に入っていた。今回の動画を見せることで、4要素を子どもたちから引き出すことができる。高め方に関するヒントの映像を入れて、子どもたちの気付きを促す。
- ・動画を流す前後の教師の発問。
 - 「どんな力が優れていると思う?」「どうすればこうなるのかな?」「こうなるためには何が必要なのか?」などをし、子どもたちから4要素や高め方に関する発言を促す。
- ・運動内容（バンブー、ゴムひも、ロールマットずもう）
 - もとの動きを押さえない以上、簡単な運動の方がよいという意見。体の柔らかさを高めるための運動では「ボール転がし」、巧みな動きを高めるための運動では「長なわ」がよいとなった。

大川実践案

- ・動画視聴後、「今日から体の動きを高める運動に入っていくよ」という流れになっているが、それだと長なわから思考が繋がらないのではないかという意見が出た。はじめに、「体の動きを高めていくよ」と伝えてから動画を視聴。そこで「どのように跳んだらあんな風に跳べるのだろう」「どうしたら上手に跳べるのだろう」という問いをもち、学習課題へつなげていくとよいとなった。
- ・第1時で単元を貫く学習問題を設定するという流れになっていたが、授業にゆとりがなくなってしまう。第3時まで設定すればよい。

4 Before After 動画視聴

- ・長なわに取り組む、6年生のリアルな姿を映した映像
- ・少し長いので、映像を編集する。
- ・子どもの声を消し、ライザップの音源を活用する。
- ・子どもの本当の失敗例であるため、共感しやすい内容になっている。

5 河野部長より

〈今後のスケジュール〉

○令和2年度研究報告会 2月26日（金）18:00～20:00

○研究報告会リハーサル 2月24日（火）18:00～

- ・報告書作成（河野）
- ・発表PP・原稿作成（畠中）
- ・発表者（未定）

○次回部会予定 2月8日（月）～12日（金）

- ・部内授業報告
- ・研究報告会資料確認

6 研究アドバイザー・常任理事挨拶

- 森田先生 大切なのは、動画で何をさせたいのか、ねらっているのかという目的を明確にすることが大切である。そこを決めてから授業の流れを決めていくとよいと思う。
- 小清水先生 Before After 動画視聴に感心した。よりよくするために、Before と After の間を□で？にする。問いをもつことが促進されると思う。他に、子どもの失敗のパターンを増やすとよい。

- 高草木先生 これまでの研究記録、研究報告を見ると、よい形でまとまってきていると思う。研究報告会では、検証授業の内容も盛りこめるとよいと思う。
- 黒澤先生 分かりやすい研究内容になっていると思う。体の動きを高める運動はまだまだ一般化できていない。そこに改めて目を向けて考えていくことも大切。より誰でもできるような学習を。
- 荻原先生 報告会では、ここまでの歩みが伝わり、一般化に結びつくように進めていこう。